

(2) 自主事業への取組

前田森林公園は、手稲山を望むカナルの素晴らしい景観などの観光資源のほか、完成から30年以上経ち成長した樹林による豊かな自然環境を有し、市民の憩いの場、環境教育の場として利用されてきました。

「4 事業の計画」で記載したように、新たな公園利用者の誘致、利用頻度の向上、滞在時間の延長を目標とし、集客や季節性を重視した事業展開による公園利用のきっかけを提供し、また当公園への再訪性を高め、利用者サービスの向上を図ります。

(2) - 1 取組の基本的な考え方

自主事業は、利用者サービスの充実を図るとともに、公園の特徴を生かしその設置目的と効用を最大限に高めるよう、次の観点を基本的な考え方として計画立案、実施します。具体的事業では、幼児から高齢者まで幅広い層を対象に、お客様の目的やニーズに応じて、たくさんの方々に来園いただけるよう、魅力あるプログラムを提供します。

また、自主事業は、仕様書に記載された業務に影響のないように計画するとともに、札幌市に申請書を提出し、承認を得た上で実施します。

なお、緑化協会が担当して行う自主事業のうち、税法上の収益事業に該当する場合は、その利益の一部50%以上は、公益事業である公園の利用促進や利用者サービスの向上、広報活動、維持管理等の管理運営経費に還元します。

■ コンプライアンス

公園の管理運営に必要な関係法令を遵守し、公正に行います。

■ 公平・平等

自主事業の周知と募集にあたっては、広報誌をはじめ、公式ホームページ、チラシなどで広く周知し、参加機会の均等を確保します。

また、定員を超える応募があった場合には、抽選等により公平性を確保します。

■ 安全体制の確保

行催事の実施にあたっては、会場や使用備品等の点検をはじめ、事故防止を徹底します。また、事業ごとに必要な人員を配置して、適正な利用指導を行います。

■ ニーズに対応した事業

イベントごとにお客様から直接の聞き取りやアンケートを行うほか、電子メールなどにより情報収集、的確に要望や意見を把握し、事業運営に反映させます。

■ クオリティの確保

講習会などの自主事業の内容については、これまでの当公園管理の経験と、多数の公園を管理しているスケールメリットを生かして多様な事業やプログラムを検討します。

また、講師については、事業内容により経験と知識の豊かな当コンソーシアムスタッフがあたることを基本としつつ、特殊な能力や知識を必要とするものについては外部講師を招聘するなどして、高いクオリティを確保します。

地域やボランティア等との連携

自主事業として実施する比較的大きな行催事等については、地域の方々や公園ボランティアとの協働・連携を図りながら進めます。また、こうした繋がりを活かし、地域団体や公園ボランティア活動の活性化に努めます。

事故発生時の対応

自主事業の実施に際してはレクリエーション保険等に加入し、万全を期します。万一、参加者がケガをするなどの事故が発生した場合には、迅速かつ誠意を持って対応します。

(2) - 2 取組の具体的内容

公益事業

④ 体験イベント、体験型講習会

《森のリースづくり・お正月飾りクラフト講習会》

園内の植物廃材を利用したリースづくりの講習会を開催し、来園へのきっかけづくりとします。

- ・実施時期/回数：11～12月、2回程度/年
- ・事前申込



《歩くスキー講習会》

冬季の公園利活用として整備している歩くスキーコースを使用し、講習会を開催します。初心者向けから、スケーティング等中上級者向け講習会等内容や対象に応じて実施します。

- ・実施時期/回数：1～2月、5回程度/年
- ・事前申込



上記講習会の実施時にはレクリエーション保険等の参加費を徴収し、安心して参加できるイベント運営を行います。

体験イベント、体験型講習会（単位：円）					
年次目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収入予定金額	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000
支出予定金額	23,000	23,000	23,000	23,000	23,000
収支予算	227,000	227,000	227,000	227,000	227,000

② 前田森林公園ふじまつり

サンクガーデンの両翼には、全長320mの大パーゴラ（藤棚）があり、北海道内では他に類を見ない壮大な景観となっています。フジの開花時期には多くの利用者が訪れることから、ボランティアの公園ガイドによる解説で公園の見どころを紹介するほか、フジのつるを用いたクラフト体験などを通じ、魅力を伝えます。

また、ミニコンサートや縁日コーナーを行うことで、幅広い客層が参加できるようなイベント運営を行います。

- ・実施時期/回数：6月上旬、1回/年
- ・連携団体：前田森林公園凸凹クラブ
札幌手稲子ども劇場等



前田森林公園ふじまつり（単位：円）					
年次目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収入予定金額	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000
支出予定金額	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
収支予算	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000

③ スノーラフティングポート

冬季の公園利用促進事業では、冬のレジャーとして人気のある、スノーラフティングポートを引き続き運行します。

- ・実施時期/回数：1～3月上旬の土日祝日
※ 積雪及び天候状況で変更があります。



スノーラフティングポート（単位：円）					
年次目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収入予定金額	178,000	178,000	178,000	178,000	178,000
支出予定金額	55,000	55,000	55,000	55,000	55,000
収支予算	123,000	123,000	123,000	123,000	123,000

収益事業

① スポーツグッズの貸出

公園利用を促進するために、スポーツグッズの貸出を行います。貸出物品としてパークゴルフセット、歩くスキーセット、スノーシューを用意し、健康増進とレジャーの場として、公園を気軽に楽しんでいただきます。スキーやスノーシューの初心者へは、道具装着のサポートをします。



- ・実施時期：パークゴルフセットは施設開放期間に準じます。
歩くスキーセット・スノーシューは1月上旬～3月上旬

スポーツグッズの貸出（単位：円）					
年次目標	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000	1,150,000
支出予定金額	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000
収支予算	970,000	970,000	970,000	970,000	970,000

② 展望ラウンジ、パークゴルフ場レストランの営業

公園利用者へのサービス提供として、展望ラウンジ 2 階、パークゴルフ場クラブハウス内に委託方式による軽食コーナー・臨時売店を出店し、飲食物等の販売をします。

また、クラブハウス内臨時売店には「BBQ ラムセット 2 人前」（事前予約制）をはじめ、バーベキュー広場利用に必要な物品販売を行うことで、気軽に屋外でのバーベキューを楽しめるようにし、更なる利用促進を図ります。

- ・実施時期/回数：4月中旬頃から11月中旬頃まで毎日



臨時売店の営業（単位：円）					
年次目標	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000
支出予定金額	0	0	0	0	0
収支予算	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000

㊦ 臨時売店の営業

毎週土曜・日曜と祝日に、管理事務所前で臨時売店を営業することで、公園利用者の利便性を図るとともに園内のにぎわいを演出します。

- ・実施時期/回数：年末年始を除く毎週土日祝日



臨時売店の営業（単位：円）					
年次目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収入予定金額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
支出予定金額	0	0	0	0	0
収支予算	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

㊧ バーベキュー広場用販売・レンタル

気軽にバーベキューを楽しめるよう、炭や焼き網等の販売をするとともに、固定炉の空きがない場合のため、コンロの有料貸出を行います。

- ・実施時期：パークゴルフ場クラブハウス開放期間に準じます。
- ・対象：バーベキュー広場利用者



バーベキュー広場用販売・レンタル（単位：円）					
年次目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
収入予定金額	700,000	700,000	700,000	700,000	700,000
支出予定金額	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
収支予算	340,000	340,000	340,000	340,000	340,000

㊨ 売店の営業

芝生広場での遊び道具として、フリスビー、シャボン玉、ゴムボールなどの昔懐かしい玩具をはじめ、園内の植物廃材を使用したクラフトや、札幌高等養護学校の生徒の作品等を、前田森林公園管理事務所販売します。

- ・実施時期：管理事務所開放期間に準じます。



直営売店の営業（単位：円）					
年次目標	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000
支出予定金額	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
収支予算	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000

㊦ 自動販売機の設置

前田森林公園内の展望ラウンジ、休憩舎、管理事務所、パークゴルフ場及び山口緑地パークゴルフ場と明日風公園に清涼飲料水の自動販売機を設置し、利用者の利便性を向上させます。設置の際には省エネルギー・環境配慮・災害対応型の機器を検討します。

- ・実施時期：4月中旬～12月初旬



自動販売機の設置（単位：円）					
年次目標	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
収入予定金額	2,760,000	2,760,000	2,760,000	2,760,000	2,760,000
支出予定金額	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
収支予算	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000

(3) 公園の課題把握及び理想像の実現

第14公募を構成する前田森林公園と山口緑地は、いずれも札幌市の環状グリーンベルト構想における手稲緑地ゾーンの拠点の都市公園・都市緑地として位置付けられ、造成から30年以上が経過し森林公園の名にふさわしい自然豊かな樹林帯とそこに咲く野草類、林床に集う様々な野鳥や昆虫などの多様な野生生物の観察や撮影、自然環境学習の場として活用されている前田森林公園と、ごみ埋め立て処理場跡地を利用して造られた都市緑地で、「さっぽろふるさとの森づくり」事業として市民協働で植樹を進め、新たな森が形成されつつある山口緑地とが、指定管理第14公募の主要公園緑地となっています。

公園緑地管理のための財源や体制は限られている一方で、次世代に継承できるみどりの価値向上、公園・緑地施設の持続性と持続可能な公園管理を目指す視点から、現在の課題や懸案事項を抽出し、公園の理想像とその実現に向けて取り組むべき自主事業等の取り組みについて、以下に詳述します。

(3) - 1 公園の課題及び懸案事項に対する公園の理想像

当公園の課題及び懸案事項について

公園管理のための財源や体制は限られている一方で、公園の老朽化やそれに伴う維持管理コストの増大により、植栽樹木の十分な維持管理が出来ず樹木が育ちすぎてうっそうと生い茂り、過密になっているエリアや、樹冠が林床植物への被圧と生育不良が目立つエリアが出てきています。

密生繁茂しすぎた樹林は、周辺が薄暗くなることで発生が懸念される犯罪・ゴミの不法投棄や事故、日照不足の悪影響の結果としての立ち枯れの倒木や枯枝の落下事故等の諸問題の発生のみならず、林床の春植物の消滅や好陽性のヤマザクラやツツジ類等の落葉低木の着花不良、林床環境の貧弱化・裸地化とそれに伴う野生生物の生息域の変化を招き、生物多様性と逆行した遷移をたどることが懸念されます。

公園管理の限られた体制を補完している住民主体のボランティア組織は、現在の公園ボランティアの枠組みでは清掃・除草・花壇管理などの範囲にとどまらざるを得ず、他方では木工作イベントの実施や観察会等の高い専門性やノウハウ、特殊な一部技術を有する円熟したボランティア組織は、構成員の高齢化が進んでおり、公園での市民協働やボランティア活動の必要性が叫ばれる一方で、減少するボランティア活動の担い手の拡大やノウハウの継承が課題となっています。

当コンソーシアムが考える公園の理想像

都市公園としての多様な機能の発揮を推進し、利用促進と自然保全（生態系や生物多様性）とのバランスをとりつつ、市民が公園利用者としてだけでなく、管理にもこれまで以上にかかわることで、より市民に愛され続ける公園を目指すべきであると考えます。

多様な利用者ニーズに対応しつつ、効率的な管理運営を行うために、教育機関・福祉・農業等の多様な分野との連携や既存ボランティアやコミュニティの活性化をより促進するための仕組みづくりが必要と考えます。

現在の前田森林公園の「成熟した豊かなみどり」を維持向上させ、山口緑地の「新たなふるさとの森づくり」を適切に進め、周辺の樹林地、森林、海や川などが有機的に連結したエコロジカルネットワークの拠点として次世代に継承していくために、自然や生きものとふれあう機会を提供し、自然の豊かさや仕組み、生物多様性保全の意義などを、安全により深く理解してもらう場としての啓発活動や体験型のイベントや環境学習プログラムの提供を継続していくことが必要です。

(3) - 2 理想像の実現に向けた自主事業等の取組について具体的な内容

公園で発生した剪定木や木の実等のクラフト製作品、クラフト素材等の販売

現在、前田森林公園では、伐採木の無料配布を行っていますが、所管原局と協議して、剪定や危険木伐採等で発生した処理木の一部をアウトドア用の薪やチップ材、木の実やツル等をクラフト素材として販売することで、管理業務負担と処理コストの縮減、バイオマス資源の一部市民還元と収益向上を図るための自主事業の実施を推進します。



クラフト製作品販売例（西岡公園）

ボランティア活動の拡充と将来の活動の担い手拡大のきっかけづくり

各エリアの自然条件に合わせて、樹林地の林床を明るくするための間伐やササなどの選択的な下草刈りと野草保護のための落葉かき等の順応的管理を行うため、札幌市の「森林ボランティア」をモデルとした公園内林床エリアの整備・下草刈り・間伐等のボランティア活動の導入を目指し、これらを進めるための人材育成や組織作り、他のボランティア活動との横断的協力等に取り組みます。

ササなどの選択的な下草刈りと野草保護のための落葉かき等の林床管理作業のボランティアイベント「しんりんレンジャー倶楽部（仮）」の企画実施に取り組みます。

既存ボランティア活動の新たな担い手拡大のため、現在活動中の公園ボランティアの活動紹介と加入を促すリーフレットやパネルを作成し、新たな担い手の門戸を広げます。

園内を活動拠点とする前田森林公園内の美化清掃や枯れ枝処理・花壇管理といった軽作業等の活動を中心に結成された「森林クリーンボランティア」の活動の密度を高めるため、ボランティア活動のすみ分けを行い、花壇管理を中心としたボランティア活動「前田森林公園フローラ（仮）」の新規募集に取り組みます。

(4) 年度別自主事業売上げ目標

年度別自主事業売上げ目標

(単位：千円)

項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公益事業	体験イベント・講習会	250	250	250	250	250
	前田森林公園ふじまつり	150	150	150	150	150
	スノーラフティングポート	178	178	178	178	178
収益事業	スポーツグッズの貸出	1,150	1,150	1,150	1,150	1,150
	臨時売店の営業	600	600	600	600	600
	バーベキュー広場販売レンタル	700	700	700	700	700
	直営売店の営業	450	450	450	450	450
	自動販売機の設置	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760
合計		6,238	6,238	6,238	6,238	6,238

6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

施設ホームページのウェブアクセシビリティを確保（日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠）するための取組について、以下の項目の内容を示してください。

【既存のサイトを継続して使用する場合】

○ 適合レベル AA 準拠を達成するための作業スケジュール（現時点で AA 準拠を達成している場合はその維持・向上に向けた取組スケジュール） ○ 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策 ○ 試験実施予定時期及び方法 ○ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等） ○ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等 ○ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

6 管理業務に付随する業務（施設ホームページのウェブアクセシビリティ確保）について

（1）既存サイトの継続使用によるアクセシビリティ確保

緑化協会の既存サイトで現在公開している当公園のホームページを、引き続き改善しながら運用するとともに、次のとおりウェブアクセシビリティの確保に努めます。

① 既に達成済みの適合レベル AA 準拠の維持・向上に向けた取組スケジュール

当公園のホームページについては、平成 29 年度に試験を行い、日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。今後のウェブアクセシビリティの維持・向上に向けた取組としては、毎年4月に担当職員を対象としたアクセシビリティ講習を行うとともに、「NPO 法人手と手」や「公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会」等の福祉団体に年1回のチェックを依頼し、意見・助言をいただき対応します。

② 新規ページ作成・ページ修正時におけるアクセシビリティ確保の方策

ページの新規作成時や修正時には、緑化協会で作成した「アクセシビリティマニュアル」に基づき適切に対応します。

③ 試験実施予定時期及び方法

既に公開しているホームページは試験実施済みですが、ホームページのリニューアルや JIS 規格の変更があった場合は、速やかに JIS X 8341-3：2016「附属書 JB（参考）試験方法」に基づいた試験を行い、結果を公開します。

④ アクセシビリティ維持・向上の取組（職員研修・利用者からの意見収集等）

上記①に示した対象職員へのアクセシビリティ講習や福祉団体からの意見聴取を行う他、一般利用者からも電子メール等で意見をいただけるよう、ホームページ上で案内します。

⑤ ウェブアクセシビリティの問題が発生した場合における対応方法等

ウェブアクセシビリティに関わる問題が発生した場合には、担当者を決めて情報を集約し、専門業者と連携を取って解決に向けた対応を迅速に実施します。また、他公園、他ドメインにおいて同様の問題発生のおそれがある場合には、前もって対処します。

⑥ 過去のウェブアクセシビリティ対応実績

ウェブアクセシビリティ対応の実績としては、当公園をはじめ、緑化協会が管理運営する札幌市指定管理施設のすべてのホームページ、及び緑化協会のホームページにおいて、既に日本工業規格 JIS X 8341-3：2016 の適合レベル AA に準拠しています。

7 類似業務の実績について

都市公園の管理運営に関して、類似業務の実績がある場合には、その業務内容及び成果等について示してください。

7 類似業務の実績

(1) 指定管理業務の実績

(1) - 1 緑化協会

緑化協会は、札幌市の公園・施設の指定管理者として、前田森林公園を含め、現在、次の29公園・施設を管理運営しています（コンソーシアムによる管理運営を含む）。

総合公園	中島公園、円山公園、百合が原公園、モエレ沼公園、川下公園、平岡公園 前田森林公園、月寒公園
運動公園	厚別公園、農試公園、手稲稲積公園
特殊公園	大通公園、平岡樹芸センター、創成川公園、西岡公園、旭山記念公園
都市緑地	豊平川緑地（上流地区・下流地区）、山口緑地
地区公園	豊平公園、発寒西陵公園、北発寒公園、前田公園、星置公園、明日風公園 西岡中央公園、吉田川公園、清田南公園、北郷公園
施設	札幌市豊平川さけ科学館

(1) - 2 スペース・デザイン

スペース・デザインは、札幌市及び江別市における公園・施設の指定管理者（コンソーシアム）として、現在は次の公園・施設を管理運営しています。

都市公園	江別市都市公園 226 公園
地区公園	星置公園、明日風公園
施設	江別市あけぼのパークゴルフ場及び森林キャンプ場

(1) - 3 マルミプラス

マルミプラスは、札幌市及び小樽市における公園・施設の指定管理者（コンソーシアム）として、現在は次の公園・施設を管理運営しています。

総合公園	中島公園（主にパークゴルフ場 36h）
都市緑地	丘珠空港緑地（パークゴルフ場 18h、空港側遊具広場ほか） 山口緑地（パークゴルフ場 27h）
地区公園	美香保公園（テニスコート 4 面、自由広場ほか） 伏古公園（テニスコート 4 面、野球場 1 面、遊具広場ほか）
施設	小樽市銭函パークゴルフ場（パークゴルフ場 18h）

(2) 他公園・施設等における維持管理業務、その他緑化関連事業の実績

(2) - 1 緑化協会

国営公園の運営管理

- 緑化協会は、これまでの公園・緑地等の管理経験で培ったノウハウを活用し、一般財団法人公園財団との共同体の代表として、平成 22 年度から国営滝野すずらん丘陵公園の運営維持管理を継続して行っています。

指定管理者制度以前の管理運営等業務

- 指定管理者制度の導入以前は、緑化協会が有する専門知識・技術等を活用して、札幌市内の大規模公園や市民ニーズの多様化、特殊化に対応する高度な管理技術を要する 17 の公園施設等（大通公園、中島公園、円山公園、百合が原公園、モエシ沼公園、川下公園、厚別公園、豊平公園、平岡公園、平岡樹芸センター、農試公園、手稲稲積公園、前田森林公園、星観緑地、札幌市豊平川さけ科学館、札幌市農業体験交流施設（サッポロさとらんど）、手稲山研修センター）を管理運営してきました。
- その他、西岡公園、茨戸川緑地、五天山公園、西山苗圃、北方自然教育園、里塚霊園、平岸霊園、手稲平和霊園、荒井山緑地等においても維持管理業務を行ってきました。
- 業務遂行に当たり、基本的な維持管理・運営管理に加え、各公園・施設ごとに異なる仕様・特性に対しても工夫して管理に取り組むことにより、当協の公園運営能力の向上につなげ、これら公園・施設の価値を継続的に高めてきました。

その他、公園の維持管理等に関連する業務の実績

- 緑化協会ではこれまで、職員の専門技術や知識、資格等を活用して、次のような業務を受託・実施することにより、緑化協会独自の技術と管理ノウハウを蓄積してきました。
 - ・ 緑のリサイクル調査
 - ・ 各公園施設樹木診断・樹木移植
 - ・ 公園土壌調査
 - ・ 試験栽培技術指導
 - ・ 街路樹灌水・清掃等
 - ・ 札幌市本庁舎立体花壇設置
 - ・ 公園砂場汚染対策調査
 - ・ 農業センター跡地公園化検討
 - ・ 試験研究圃場管理
 - ・ 土壌分析
 - ・ 各種観察会開催
 - ・ 魚類・生物調査
 - ・ 園芸・緑化等に係る講師派遣
 - ・ 都市緑化サポート等の業務
 - ・ 花と緑のネットワーク推進支援事業
 - ・ プレーパーク推進支援事業 等

これらの業務の受託・実施においては、委託者の要求に適切に応えて良好な成果を上げることで、高い評価と信頼を得てきました。今後も緑化協会が有する知識、技術及び管理ノウハウを活用できる業務を積極的に受託し、広く社会に貢献するとともに、組織の経営基盤向上にもつなげます。

(2) -2 スペース・デザイン

公園の維持管理等に関連する業務の実績

- 札幌市ほか地方自治体の業務では、次の維持管理業務を行っています。
 - ・札幌市手稲区公園及び街路樹等総合維持管理業務（北地区）
 - ・札幌市西区公園及び街路樹等総合維持管理業務（南地区）
 - ・札幌市河川維持作業業務
 - ・札幌市道路維持作業業務
 - ・本郷新記念札幌彫刻美術館庭園管理・除雪業務
 - ・江別市野幌公民館敷地草刈等保守管理業務
 - ・南幌町緑地等樹木・街路樹剪定業務

(2) -3 マルミプラス

公園の維持管理等に関連する業務の実績

- 札幌市建設局みどりの推進部発注の公園工事の施工実績では、平成 27 年度から令和 3 年度までの 7 年連続して札幌市造園工事優秀施工業者表彰を受けています。
 - 平成 27 年度 社会資本整備総合交付金事業 丘珠空港緑地（北東地区）造成工事
 - 平成 28 年度 社会資本整備総合交付金事業 丘珠空港緑地（北東地区）造成工事
 - 平成 29 年度 社会資本整備総合交付金事業 厚別山本公園造成工事（その 1）
 - 平成 30 年度 社会資本整備総合交付金事業 厚別山本公園造成工事（その 1）
 - 平成 31 年度 防災・安全交付金事業 手稲稲積公園施設改修工事
 - 令和 2 年度 社会資本整備総合交付金事業 厚別山本公園造成工事（その 1）
 - 令和 2 年度 社会資本整備総合交付金事業 南 2 条みゆき公園ほか 1 公園造成工事
 - 令和 3 年度 社会資本整備総合交付金事業 厚別山本公園造成工事（その 1）また、維持管理業務として下記業務を 20 年以上継続して行っています。
 - 札幌市北区公園及び街路樹総合維持管理業務（拓北・あいの里地区）

(2) -4 横山造園

公園の維持管理等に関連する業務の実績

- 札幌市の業務では、次の維持管理業務を行っています。
 - ・札幌市手稲区公園及び街路樹等総合維持管理業務（南地区）
 - ・札幌市中央区公園及び街路樹等総合維持管理業務（東部地区）
 - ・札幌市西区公園及び街路樹等総合維持管理業務（中地区）
 - ・札幌市本庁舎前庭等管理業務
 - ・旧設墓地 C 地区草刈等維持管理業務
 - ・西区土木センター維持管理
 - ・水道局中部水道センター草刈植栽整備業務
 - ・道路維持作業業務
 - ・河川維持作業業務
 - ・定山溪二見公園維持管理業務
 - ・中の川公園園路等改修業務

(3) 緑化協会の業務における成果の代表事例

緑化協会では、設立以来の様々な管理実績を通して培ったノウハウを生かし、公園施設の管理運営業務等において、次のような有益な成果を上げています。

■ 北国さっぽろを基準とした植物栽培技術の確立・発信

ユリ（百合が原公園）やライラック（川下公園）、ウメ（平岡公園）など、公園のシンボルとなっている植物の管理技術や、バラ、ダリア、フクシア、ゼラニウムなど札幌の環境・風土に適する植物の栽培技術を確立して、北国さっぽろのまちづくりに相応しい植栽デザインや栽培方法などについて提案し普及に努めてきました。

特に川下公園のライラックについては、開園当時から多品種のコレクションの収集・生育管理と情報提供等を積極的に行ってきた結果、その継続的な活動が国際ライラック協会に認められ、2017年に川下公園が「President's Award」を、また長年ライラックの管理に携わった緑化協会職員が「Directors' Award」をそれぞれ受賞しました。

■ 人と自然に優しい公園管理

① 植物リサイクル

指定管理者として管理する全公園施設において、刈草、落ち葉、枝や幹などの植物系廃棄物を堆肥化又はチップ化し、樹木周辺及び園路等に敷き均すなど、可能な限り公園内で循環するよう、リサイクルに努めています。

② 化学農薬を極力使わない植物管理

化学合成された殺虫剤や殺菌剤、除草剤を極力使わない植物の維持管理を行い、安心・安全な公園管理を目指しています。例えば、植物の生育に大きな被害をもたらすコガネムシ類の幼虫の駆除のため、平岡樹芸センターでは、ボランティアとの協働で夜間に羽化した成虫を大量に捕獲するなどの対応を取り、一定の成果を上げています。

③ 生物多様性保全に向けた取組

公園・緑地をはじめ、札幌市内における生物多様性の保全については、以下にあげる各種の課題について、大学や専門機関、活動団体、ボランティア等との連携により継続して取り組み、状況の改善に努めています。

- ・ 特定外来生物であるオオハンゴンソウのほか、イワミツバ、ゴボウなど外来植物の駆除
- ・ トノサマガエル、アズマヒキガエル、アメリカザリガニ、ウチダザリガニ、ミシシippアカミミガメ等の外来種を対象とした調査・啓発・駆除
- ・ 在来の希少種であるクリンソウ、クゲヌマラン、ハイケボタル、オオムラサキ、ニホンザリガニ、カワシンジュガイ等の保全・啓発
- ・ 鳥類による食害防除、野生動物（リス、キツネ、鳥類など）への餌付けから生じる諸問題への対応

そして、札幌市環境局の生物多様性推進事業に協力するために、緑化協会は「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」に登録しているほか、百合が原緑のセンターなど4施設が「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」に参加し、スタンプラリーの開催や連携事業などを行うことで、生物多様性保全活動の活性化に貢献しています。

また、札幌市からプロポーザルで発注されていた「まちなか生き物活動」事業において、平成27年度の「タブレットで生き物情報を集めよう！」では、緑化協会が管理する円山公園、平岡公園、西岡公園でトノサマガエル、ハイケボタル、野鳥を対象とした参加型調



査に協力したほか、平成 29 年度の「身近でいいの？アメリカザリガニ～札幌市街地の外来種と生き物の飼育を考える～」においては、豊平川さけ科学館がプログラムの実施に協力しました。

④ 安全・安心な公園利用環境の提供

札幌市内でも郊外に位置する公園では、キタキツネを見かけることがあり、利用者からエキノкокス感染症に対する不安の声が寄せられることがあります。緑化協会では、安全・安心な公園利用環境の確保のため、北海道立衛生研究所や環境動物フォーラムなど専門機関の協力を得て、平成 29 年 6 月から、平岡公園において、試験的に駆虫薬入りのベイト（エサ）を毎月散布しています。そして、この取組の目的と実施内容を、ベイトがヒトや犬には安全であることを含め、ホームページで周知しています。今後は、この取組の効果の検証結果を受けて、他公園での実施についても検討していく予定です。

緑化の普及啓発

広く緑化の普及啓発を推進し、市民の園芸技術の向上を図るため、公園観察会、植物等の展示会及び園芸講習会や緑の相談など、様々な取組を行っています。

① 公園観察会

スタッフが園内の見どころを解説しながら案内する公園ツアーや自然観察会は、公園の魅力を紹介するだけでなく、環境や生物等についても広く学べるため、多くの市民から好評を得ています。

② 展示会

ゼラニウムやフクシアなど、札幌の気候や生活環境に適した植物を紹介する展示会、盆栽やサツキ、セントポーリアなど、地域で活躍する植物同好会等との協働による展示会、市民が栽培したランなどの観賞植物の展示会、植物や生物などを活用した環境教育関連の展示会など、四季折々の工夫を凝らした展示会を開催して、市民の目を楽しませるとともに、新たなガーデニングへの関心を高めることで緑化の普及啓発を行っています。

③ 園芸講習会

市販の園芸に関する手引き書は、そのほとんどが積雪のない本州仕様で、積雪寒冷地の札幌市民にとっては参考にならないことが多々あります。緑化協会では、長く培ってきた札幌の気候に適した技術・ノウハウ等を市民に普及するため、スタッフによる様々な園芸講習会を開催し、市民の園芸知識及び技術のレベルアップを図ってきました。

④ 緑の相談

園芸に関する様々な相談に答える「緑の相談」については、3箇所の相談所に専門の相談員を配置し、全国屈指の数の相談を受けています（令和 3 年度は計 14,742 件）。北国札幌の園芸特性に対応し、冬越しの管理など、一般の書籍などでは正確な情報を得ることが難しい質問に対しても、分かりやすく適切な回答に努め、市民からは高い評価と信頼を得ています。

⑤ 基金事業による取組

民有地の緑化と、緑化の普及啓発を図るため、次の事業を札幌市都市緑化基金事業として実施しています。（カッコ内は令和 3 年度の実績）。

- ・ 札幌市の木であるライラック他花木の苗木配布（475 本）
- ・ 壁面緑化のためのツタ苗補助（3 件、14 株）
- ・ 町内会等へのプランター無料貸出し（4 団体、100 基、花苗 500 株）
- ・ 小・中学生を対象とした緑の絵コンクールの開催（参加 59 校、339 点）

- ・ 札幌市内公園・緑地のフォトコンテストの開催（応募 204 名、695 点）
- ・ ガーデニングボランティアの養成を目的とした講座・実習プログラムの実施
さっぽろまちづくりガーデニング講座（受講者 12 名 全 17 回）
17 回のうち 5 回は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止し次年度に振替
- ・ 花や緑を切り口とした緑化プランに対する助成金交付の募集
- ・ 園芸に関する知識や技術を解説する冊子（4,000 冊）を配布
すくすくみどり№30 「初めての宿根草～誰でもかんたん・宿根草ガイド～」

⑥ さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業（札幌市委託事業）

札幌市から標記事業を毎年受託し、緑化協会が事務局となり、花と緑のまちづくりに関心を寄せる市民や団体を募って登録し、その活動を広く市民・企業などへ情報発信し、みどり豊かなまちづくりの輪を広げています。ワークショップや定期的な講習会の開催、会報の発行、ホームページの運用などで花と緑に関するネットワークを広げ、人と人を結ぶことで新たな活動創出のきっかけづくりを行い、成果は着実に広がっています。

⑦ ガーデニングボランティアの養成

公園をフィールドとした花と緑のボランティアを募り、各公園の実情に合った講義や実習などを通して、公園の美観の維持向上に活躍していただいています。

⑧ 園芸等に関する小冊子の発行

緑と花に関する小冊子「すくすくみどり」を発行し、各公園のほか市役所・各区役所などの公共施設で配布しています。また、バックナンバーについては緑化協会ホームページで公開しています。

⑨ 「まちづくりのための北のガーデニングボランティアハンドブック」の出版

ガーデニングボランティアの養成を目的として、平成 20 年度からの 5 年間にわたり、緑化協会の主催で開講した「さっぽろ緑花園芸学校」の講義・実習の内容をベースに、52 名の専門分野の講師によって執筆された、ガーデニングやまちづくりに関するハンドブックを平成 26 年度に出版しました。北国のまちづくりを広くカバーする充実した内容が好評を博しています。

⑩ 外部への講師派遣等

緑化協会において、スタッフ各自が専門知識・技術の研鑽とその共有に努めてきた結果、現在、さまざまな団体・法人等から講習会・講演会の講師や専門委員としての依頼をいただいております。緑化協会が果たすべき使命・役割の一環として積極的に引き受けています。

市民参加・協働の推進

現在、緑化協会が指定管理者として管理する 20 の公園・施設において、46 の団体に計 800 名近いボランティアが登録し、活発に活動しています。また、円滑なボランティア活動を推進するため、各公園・施設にボランティアコーディネーターを配置してボランティアの養成と支援に努めています。

このほか、市民や地域の団体等によるイベントを積極的に誘致し、誰もが参加できるように明るく楽しいイベント運営をコーディネートしています。

その他

① プレーパーク（子どもの外遊び）の推進

緑化協会は、平成23年度から毎年、札幌市子ども未来局の「プレーパーク普及啓発・活動支援業務」を受託し、既存の活動団体の支援と市内各区のプレーパーク活動の芽のサポートに継続して取り組んできました。また、外遊びにかかわる様々なテーマについて実践的な講座を開催し、子どもの遊びを見守るプレーリーダーの新たな発掘と育成にも努めています。

公園・緑地における子どもの外遊びをより活発にするため、今後も公園の管理運営と連携してプレーパーク活動支援の取組を推進していきます。

② 子どもたちによる生物調査活動

緑化協会では、環境教育の一環として、子どもたち自身により生物調査を行う取組である「西岡ヤンマ団」を平成19年度に、「西岡さかな組」を平成21年に結成し、西岡公園の自主事業としてトンボと魚類の調査を実施してきました。参加する子どもたちは、現地で直接生物と接し、調査結果を整理して考察し、成果を発表することを通して、生物に関する興味関心を深め、自然環境の大切さを学びます。子どもたちの活動には、卒業生や保護者もサポートで参加しており、地域活動の活性化にもつながっています。

これらの取組は、下記のとおり、これまで様々な賞を受けています。

受賞内容		主催者
ヤンマ団	H23 ジュニア自然環境賞	(一財)前田一步園財団
	H27 コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞(活動表彰部門)	(公財)コカ・コーラ教育・環境財団
	H28 さっぽろ環境賞 札幌市長賞(市民・団体部門)	札幌市
	H28 こどもホタレンジャー2016 水環境保全賞	環境省
	H28 こども環境学会賞 活動賞	(公社)こども環境学会
	H29 道新地域げんき大賞	(株)北海道新聞社
	H30 小中高生ポスター発表 優秀賞	第89回日本動物学会札幌大会
さかな組	H28 コカ・コーラ環境教育賞 優秀賞(活動表彰部門)	(公財)コカ・コーラ教育・環境財団
	H28 クリオネ賞	(公社)日本水環境学会北海道支部
	H29 水環境文化賞「児童・生徒の部」(みじん子賞)	(公社)日本水環境学会
	H30 小中高生ポスター発表 優秀賞	第89回日本動物学会札幌大会

③ 効率的な管理運営

緑化協会は、メリハリのある管理運営計画や人員配置の工夫などを行うことで、より効率的な管理運営体制を構築してきました。特に、スタッフの専門知識・技術を生かして、公園・施設間で柔軟にスタッフを配置・活用する「みどりの価値向上プロジェクト」(P.24)が、公園・施設の運営と事業を活性化させています。

④ ノウハウの共有と品質・サービスの向上

札幌市の公の施設及び国営滝野すずらん丘陵公園の管理運営などにより培ったノウハウを、組織全体の財産としてスタッフ間で共有することにより、全公園・施設の品質向上や利用者サービスの向上につなげています。

8 札幌市内の企業等の活用について

札幌市内の企業等の活用についての考え方、活用に向けた具体的な取組を示してください。

8 札幌市内の企業等の活用について

(1) 活用についての考え方

当コンソーシアムの代表企業である緑化協会では、物品の購入と外部への委託等については、札幌市内の企業・団体を優先的に活用しています。

(1) - 1 札幌市内の企業・団体を活用する理由

- ・ 地域経済の発展に寄与するため。
- ・ 優秀な技術、商品等をいち早く入手するため。
- ・ 地域の高度な技術や優良製品等が市民の目に留まる機会となるため。
- ・ 商品等の輸送時に排出されるCO₂の抑制に貢献するため。

次の優先事項を考慮して、当公園の管理において、適切な市内企業を選定し活用していきます。

(1) - 2 札幌市内の企業・団体の中での優先事項

- ・ 福祉施策に積極的に取り組んでいる企業
- ・ 環境に配慮した商品や技術を有している企業
- ・ 福祉施設・団体等が生産する物品等の調達
- ・ 地域の風土、素材、デザイン、特産等を生かした札幌らしい商品・サービス等の調達

(2) 活用に向けた具体的な取組

当コンソーシアムでは、上記の理由及び優先事項に適合する札幌市内の企業や商品等を適切に選定するために、次のとおり取り組みます。

- ① 緑化協会が管理する公園・施設間の情報を共有して、企業のコンプライアンス・信用力、業務の体制や実績等を総合的に見極めて事業者を選定するよう努めます。
- ② 商品の適正価格、品質、サービスの柔軟性等の要素についてよく検討して、管理経費の節減と適切な業務遂行に相応しいものを選びます。
- ③ 新聞、テレビ、インターネット、情報誌等により、札幌市内の企業や商品等の情報収集に努め、積極的な活用につなげます。
- ④ 札幌市中小企業振興条例の理念に則り、中小企業や個人経営者の受注機会を増やし、地域の商店などの活性化に努めます。
- ⑤ 「令和4年度札幌市障害者就労施設等からの物品等の調達方針」の趣旨を理解し、障害者就労施設等からの物品・販売商品等の調達や業務の委託などの継続・拡大に努めます。